

これが分かれば安心！

動画も見てね♡



嘔吐物処理のHow to!



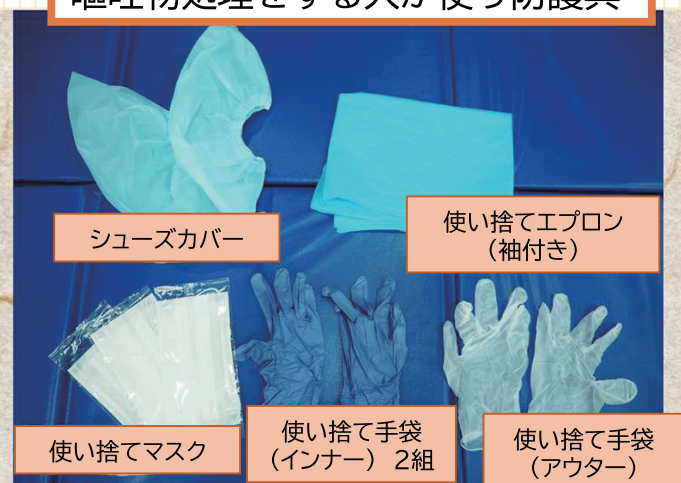
嘔吐物処理に必要な物品

嘔吐物処理は下記の物品で行います。
いつでも使えるように、1回で使用する物品を1つにまとめて
事前に準備しておきましょう。

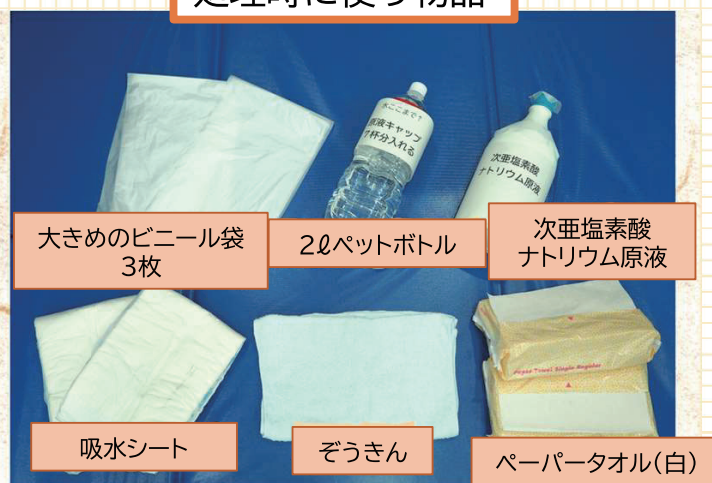
嘔吐処理では一度に2ℓ以上
次亜塩素酸ナトリウム溶液を
使うので、ペットボトルは多め
に準備しておきましょう。



嘔吐物処理をする人が使う防護具



処理時に使う物品



次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方

①



塩素濃度を確認

次亜塩素酸ナトリウム原液の
塩素濃度を確認

②



手袋着用する

溶液のトータル量
1800mlの位置に
目印をつける

ペットボトルに
次亜塩素酸ナトリウム原液を入れる

③



目印まで水を入れた後、
フタをしっかりと閉めて
溶液をよく混ぜる

次亜塩素酸ナトリウム原液の量：溶液1800mlあたり

原液の塩素濃度	0.02%溶液を作る場合 (環境消毒)	0.1%溶液を作る場合 (嘔吐物処理・トイレ周辺)
6% (一般的な家庭用)	6ml	30ml
12% (一般的な業務用)	3ml	15ml



ペットボトルキャップ
1杯あたり5ml

【ここに注意！】

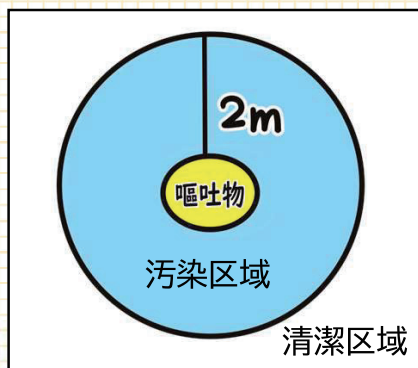
- ①原液ボトルは開封した後、長期間使わずに保管しておくで濃度が低下し、消毒の効果も下がります。開封したらボトルに開封日を記載し、なるべく早めに使いきりましょう。また、直射日光の当たらない場所で保管をしてください。
- ②次亜塩素酸ナトリウム溶液は、嘔吐発生時はその都度作成し、作り置きや保管をしないでください。また、環境消毒で使用する際も毎日作り替えるようにしましょう。



令和7年作成



知っておくべきポイント！



1mの高さから嘔吐した場合、半径2mかつ高さ1.6mまで嘔吐物が飛散するため消毒する必要があります。



立ち入り禁止

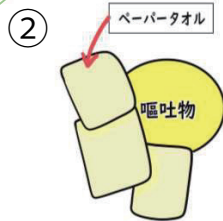
感染拡大を防ぐため
同じ部屋に人がいる場合は
速やかに別室へ誘導してください。



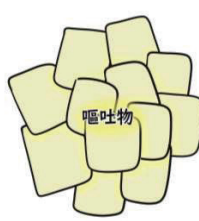
嘔吐物処理の手順



換気をする。



※上から見ています。



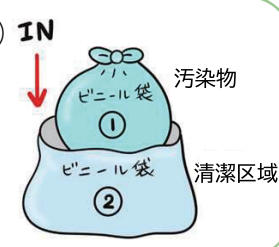
次亜塩素酸ナトリウム溶液
(0.1%)を上からかける。



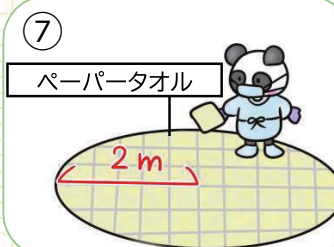
外側から内側に向かって
一方向に嘔吐物や
ペーパータオルを回収し、
ビニール袋に入れる。



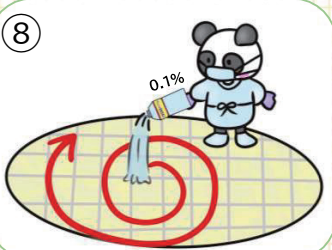
汚染されているビニール
袋の中全体に次亜塩素酸
ナトリウム溶液をかけ、
袋を閉じる。



清潔区域のビニール袋に
汚染物のビニール袋を
入れる。



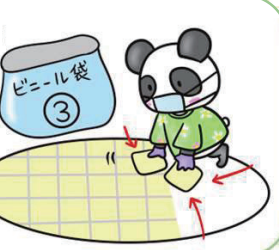
汚染区域の半径2m範囲
内にペーパータオルを敷
き詰める。



ペーパータオルの上から
次亜塩素酸ナトリウム溶
液をかけ、10分待つ。



待つ間に防護具を全て脱
ぎビニール袋に捨て閉じる。
手洗いをし、手袋は新しい
物に交換する。



10分後、外側から内側
向かってペーパータオル
を回収。ビニール袋に入
れる。



最後にぞうきんで床全体
を水拭きする。

Finish!



台東保健所 保健予防課 感染症対策担当

☎03(3847)9476

処理が終わったら
しっかり手洗いし、
洋服を着替える
のを忘れずに！